

# 打つ手は無限

滝口長久郎  
神波良平一書

オレが「し」名画のことも  
とmpower, 不眠のことも  
ももももも大切のことも  
私に持っている

どんな時でも  
どんな書し、場合でも  
愚痴を言いたい  
参ったと泣きながら書きたい

何か方法は無いだろうか、  
何か方法はあるはずだ  
周回と見回しをしよう

いろんな角度から眺めたい  
人の知恵も借りてみよう  
はたす何かのなにもない  
かぜから打つ手は常下  
無限があるからだ